

# プロンプト生成・管理ツール 操作マニュアル

## △ 免責事項

本ツールの利用は自己責任でお願いします。動作や結果を保証するものではなく、利用により発生した損害・不利益について、開発者は一切の責任を負いません。

## 第1章: このツールについて

このツールは、プロンプト生成を効率化するための**Web**アプリです。

ブラウザ上で条件を選択するだけで、**AI**サービスに渡すためのプロンプトを自動生成できます。

さらに、**Google Apps Script (GAS)**を利用することで、生成条件を**JSON**ファイルや**Google**スプレッドシートから読み込み、保存・再利用することも可能です。

これにより、プロンプトの再現性や共有が容易になり、チーム利用や長期的な管理にも適しています。

### 主な機能

- 条件を選択して即時にプロンプトを生成
- **JSON**ファイルから条件をインポート
- **Google**スプレッドシートとの連携による条件の保存・呼び出し
- 出力プロンプトのコピー機能

### 活用例

- 毎回条件を手入力する手間を省きたい
- 生成したプロンプトを複数メンバーで共有したい
- 過去に使ったプロンプトをすぐ再利用したい

## 第2章: 利用環境・動作条件

本ツールは、ブラウザ上でプロンプト生成および管理を行うための**Web**アプリです。

以下は快適に利用できる可能性が高い環境の例です。

### 2-1. 推奨OS

- **Windows 10 / 11**
- **macOS** (最新バージョン)
- **iPadOS** (最新版)
- **ChromeOS** (※一部機能制限の可能性あり)

### 2-2. 推奨ブラウザ

- **Google Chrome** (最新版) ... 推奨

- Microsoft Edge(最新版)
- Safari(最新版) ... iPad / macOS利用時

補足: iPadなどのタブレット環境では、ドラッグ&ドロップや複数選択の挙動がPCと異なる場合があります。手順書内では、必要に応じて「iPadの場合」の補足を記載します。

## 2-3. ネット接続について

- Googleスプレッドシート連携(GAS)を使用する場合はネット環境が必要です。
- それ以外の基本機能はオフラインでも利用できます。

# 第3章: 画面の見方

この章では、AIキャラ統一プロンプトメーカーの画面構成と、各エリアの役割を説明します。

UIは大きくヘッダー → 入力フォーム → 出力欄 → 履歴 → 設定 の順に配置されています。

## 1. ヘッダー

- モード切り替え
  - 「一発生成」: 入力内容から単発でプロンプトを生成します。
  - 「キャラ統一」: 事前に登録したキャラ設定をもとにプロンプトを生成します。
- 出力先の選択
  - 「汎用」「Stable Diffusion」「Midjourney」「DALL・E」から選択。
- インポート機能
  - JSONインポート: 保存済みの設定を読み込みます。
  - シートからインポート: Googleスプレッドシートから設定を読み込みます(※GAS連携が必要)。

## 2. 入力フォーム

各項目を順番に入力していきます。

1. キャラ基本(名前・年齢・性別)
2. 髪(色・形)
3. 顔/目/表情(顔型・目の色・表情)
4. 服装/小物(服の種類・アクセサリなど)
5. 構図/視点/背景(カメラアングル・背景描写)
6. 生成補助(LoRAやNegative Promptなど)

※項目はすべて任意入力です。入力しなかった要素は生成プロンプトに含まれません。

## 3. 出力欄

プロンプト生成 ボタンを押すと、右側の出力欄に4種類の形式でプロンプトが生成されます。

配置は以下のとおりです(2×2レイアウト):

- 左上: 汎用

- 右上: **Stable Diffusion**
- 左下: **Midjourney**
- 右下: **DALL・E**

出力欄右上には次のボタンがあります:

- 表示中をコピー: 選択中の出力欄だけコピーします。
- 全部コピー: 4種類すべてを一括コピーします。
- エクスポート: **JSON**形式で保存します。

#### 4. 履歴

過去に生成したプロンプトが一覧で表示されます。

クリックすると再度呼び出して編集できます。

#### 5. 設定 / 連携

- **MJ**設定: **Midjourney**向けのパラメータ調整。
- **SD**設定: **Stable Diffusion**向けのパラメータ調整。
- **Negative Prompt**設定
- **GAS URL** (※**GAS**連携を使う場合のみ必須)
- **Shared Token** (任意)
- 有効化トグル: スプレッドシート連携のオン/オフ切り替え。

## 第4章: **GAS**設定

この章では、プロンプト生成ツールのデータを**Google**スプレッドシートに保存して管理したい方向けに、**Google Apps Script** (以下、**GAS**) の設定方法を解説します。

**GAS**はあくまで補助機能であり、使わなくても本ツールは利用可能です。

ただし、スプレッドシート連携を行う場合はネット環境が必須です。

### 4-1. **GAS**の役割

**GAS**を設定すると、ツールで生成したデータを自動的にスプレッドシートへ保存できます。

これにより、過去の生成結果を一覧で確認・整理したり、後から再利用することが可能になります。

### 4-2. 準備するもの

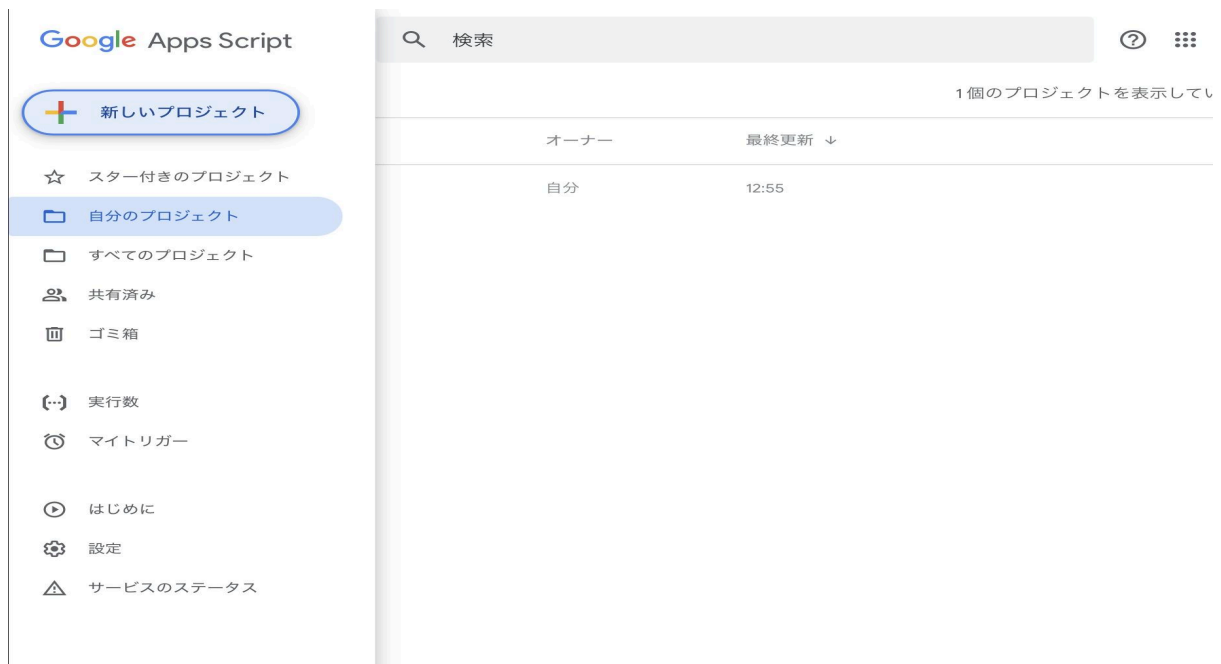
- **Google**アカウント
- 保存先として利用する**Google**スプレッドシート (本手順を実行すると自動生成されます)
- インターネット接続環境 (**GAS**利用時のみ必要)

### 4-3. 設定手順

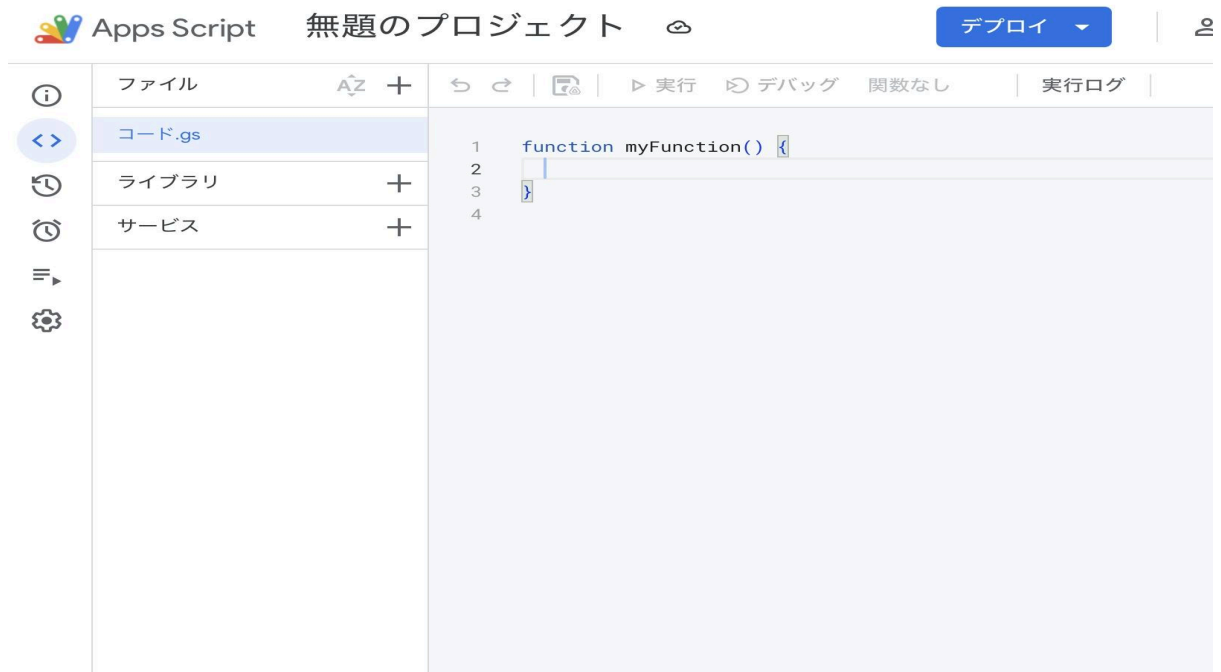
#### ① 新しい**GAS**プロジェクトを作成

1. ブラウザで [Google Apps Script](#) を開きます。

2. Googleアカウントでログインします(Gmailなどと同じアカウントを使用)。
3. 左上の「新しいプロジェクト」をクリックします。



4. プロジェクト名をわかりやすく設定します(例:「プロンプト管理ツール」など)。



## ② コードを貼り付ける

1. 自動生成された **Code.gs** の内容をすべて削除します。
2. 本マニュアルに付属している**GAS**コードを貼り付けます。

| ファイル   | 実行 | デバッグ | 関数なし | 実行ログ |
|--------|----|------|------|------|
| コード.gs |    |      |      |      |
| ライブラリ  | +  |      |      |      |
| サービス   | +  |      |      |      |

```

1  /**
2   * AIキャラ統一プロンプトメーカー - GAS連携
3   * v1.0 (2025-08-12)
4   * - doPost: 受信データをシートへ append
5   * - doGet : シートからレコード一覧を JSON で返す (フィルタ可)
6   * - CORS & 簡易トークン対応
7   *
8   * ■想定POSTパラメータ (application/x-www-form-urlencoded)
9   * token, name, mode, general, sd, mj, dalle, tags, note, negative,
10  * selections_json, settings_json, record_id
11  *
12  * ■想定GETパラメータ
13  * token, limit, name, tag, since, record_id
14  */
15
16  const SHEET_NAME = "data";
17  const PROP_KEY   = "APM_SHEET_ID"; // プロパティに保存
18  const REQUIRE_TOKEN = false;       // trueにすると token 必須
19  const ALLOW_ORIGINS = ["*"];       // 必要ならここにドメインを列挙
20
21  /** ヘッダー */
22  const HEADERS = [
23    "Date", "Name", "Mode",
24    "General", "SD", "MJ", "Dalle",
25    "Tags", "Note", "Negative",
26    "SelectionsJSON", "SettingsJSON", "RecordID"
27  ];
28
29  /** 共通: CORSヘッダー */
30  function withCors (output) {

```

3. 左上の「保存」アイコンをクリックします。

### ③ デプロイ(公開設定)

1. 右上の「デプロイ」ボタンから「新しいデプロイ」を選択します。
2. 「デプロイの種類」から「ウェブアプリ」を選びます。

3. 「アクセスできるユーザー」を「全員(匿名ユーザーを含む)」に設定します。

新しいデプロイ

| 種類の選択  | 設定   |
|--------|--|
| ウェブアプリ | <p>説明</p> <p>新しい説明文</p> <p>ウェブアプリ</p> <p>次のユーザーとして実行: 自分</p> <p>このウェブ アプリケーションを実行するために、あなたのアカウント データを使用することを許可します。</p> <p>アクセスできるユーザー: 全員</p> <p>ライブラリとしても利用できます。 <a href="#">詳細</a></p> <p>キャンセル デプロイ</p> |

#### ④ アクセス権限の許可

1. 初回デプロイ時にはGoogleアカウントのアクセス許可を求められます。

## 新しいデプロイ

このウェブ アプリケーションを使用するには、データへのアクセスを許可する必要があります。

アクセスを承認

キャンセル

完了



## Google hasn't verified this app

The app is requesting access to sensitive info in your Google Account. Until the developer [provides evidence](#) that it verifies this app with Google, you shouldn't use it.

[Hide Advanced](#)

BACK TO SAFETY

Continue only if you understand the risks and trust the developer

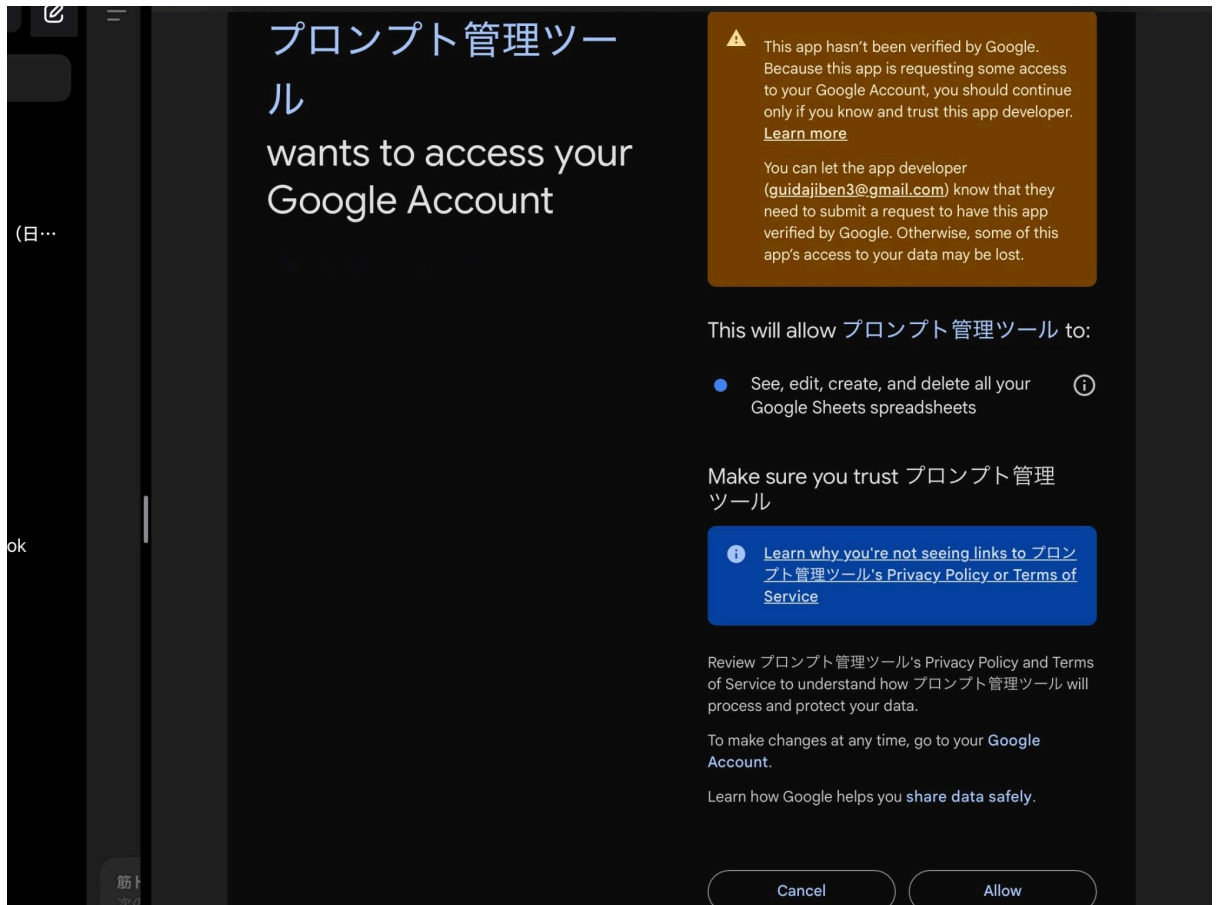
 [Go to profile](#)

[Go to プロンプト管理ツール \(unsafe\)](#)

2. 「詳細」→「(プロジェクト名)に移動」をクリックします。



3. 「Allow」を押して続行します。



#### ⑤ URLのコピー

1. デプロイが完了すると「ウェブアプリのURL」が表示されます。
2. このURLをコピーし、ツール側の設定画面(GAS Web App URL)に貼り付けます。



## 4.5 動作確認

1. 画面下部の「**GAS**接続テスト」をクリック → 「**GAS**接続**OK**」と出れば成功。
2. いつも通り「プロンプト生成」→「エクスポート」→「スプレッドシートのみ」を選択。
3. スプレッドシートに行が追加されていれば連携完了。**Google**スプレッドシートに自動出力。

## 4.6 共有トークンの利用(任意・推奨)

### 4.6.1 共有トークンとは？

- **Web**アプリURLを知っていれば誰でも叩ける設定にしている場合、最低限のアクセス制御として使う「合言葉」です。
- ツール側はtoken=...を付けて送信し、**GAS**側は一致するかチェックします。
- 個人運用で一人だけ使うなら空のままでも構いません。
- 複数人で共有するが、知らない人に書かれたくないときは設定をおすすめします。

### 4.6.2 **GAS**側の設定(1回だけ)

**Apps Script** エディタで次を実行:

- `initSetToken()`(スクリプト内に同梱)
  - 関数内の "**APM\_SHARED\_TOKEN**" を十分に長い任意の文字列に変更してから実行。
  - 実行後、スクリプトプロパティに保存されます(**APM\_SHARED\_TOKEN**)。

```

208  *
209  * 共有トークンを保存
210  * - ユーザーは initSetToken() 内の "APM_SHARED_TOKEN" を
211  *   自分の好きな長い文字列に変更し、その1回だけ ▶ 実行すればOK
212  */
213 function setSharedToken(token) {
214     if (typeof token !== "string" || !token.trim()) {
215         throw new Error('Token is required: setSharedToken("<your-token>")');
216     }
217     PropertiesService.getScriptProperties().setProperty("APM_SHARED_TOKEN", token);
218 }
219
220 /**
221  * ★ ユーザー操作ポイント
222  *   ここだけ編集します → "APM_SHARED_TOKEN" を変更して ▶ 実行
223  *   それ以外は編集不要
224  */
225 function initSetToken(){
226     setSharedToken("MySecretToken123456789"); // ←ここを好きな長い文字列に変更
227 }
228
229 /** 設定済みトークンの確認 (ログ出力) */
230 function debugReadToken(){
231     const t = PropertiesService.getScriptProperties().getProperty("APM_SHARED_TOKEN");
232     Logger.log(t || "(none)");
233 }

```

### 4.6.3 ツール側の設定

- ツールの「設定 / 連携」→ **Shared Token** に、4.6.2で設定した文字列をそのまま入力 →「設定を保存」。



- デプロイ後、スクリプトを修正した場合は再度「新しいデプロイ」から更新する必要があります。
- 無料のGoogleアカウントでも利用可能ですが、Googleの利用規約や実行時間制限に従ってください。

これでGASの設定は完了です。

## 第5章: Q&A

Q1. このツールは何をするものですか？

A. 日本語で選択・入力した内容をもとに、英語のプロンプトを自動生成します。生成内容はJSONまたはスプレッドシート (Google Sheets) に保存できます。

Q2. 動作環境は何が必要ですか？

A. Google Chromeなどのモダンブラウザと、Googleアカウント(GAS/スプレッドシート連携用)が必要です。インターネット接続環境も必須です。

Q3. GASのトークンは何に使用しますか？

A. ツールとスプレッドシート間の通信を保護するための認証キーです。正しいトークンを設定しないとデータの保存・取得はできません。

Q4. トークンはどこで設定しますか？

A. GAS側の `initSetToken()` 関数内の文字列を任意の長い文字列に変更し、関数を一度だけ実行します。その後、ツール側の設定画面にも同じ文字列を入力してください。

Q5. トークンが間違っても「接続OK」と表示される場合があります。なぜですか？

A. 接続チェックはサーバー(GAS)への応答可否を確認しています。トークンが誤っていても、GAS自体が応答すれば「OK」になりますが、その後の保存処理は失敗します。

Q6. スプレッドシートが削除された場合はどうなりますか？

A. GASコードには自己修復機能があり、シートが完全に削除・ゴミ箱移動されても自動的に新規作成されます。

Q7. 保存先シートの構成は変更できますか？

A. HEADERS 定数を編集すれば列構成を変更できますが、既存データとの互換性が失われる場合があります。

Q8. 保存したデータはどこで確認できますか？

A. GASの `getSheet_()` 関数で管理しているスプレッドシートを開き、data タブを確認してください。

Q9. 保存形式は何ですか？

A. 各行に1レコードとして日付・名前・各種プロンプト情報・JSON形式の設定値などが保存されます。

Q10. ツールの表示をリセットしたい場合は？

A. ブラウザを再読み込みすれば初期状態に戻ります。ローカルに保存された設定は、ブラウザのローカルストレージを消去することで完全にリセットされます。

Q11. ツールはスマホやタブレットでも使えますか？

A. 基本的に動作しますが、PCのブラウザでの利用を推奨します。スマホでは入力欄やプルダウンが見切れる場合があります。

Q12. JSON保存とスプレッドシート保存は同時にできますか？

A. できます。設定画面で両方の保存先を有効にしてください

## 第6章. 注意事項

- 本ツールは自己責任でご利用ください  
本ツールの利用によって発生した損害・不利益について、開発者は一切の責任を負いません。必ず自己判断・自己責任でご利用ください。
- トークン管理は厳重に  
トークンは第三者に知られるとデータを書き換えられる可能性があります。共有や公開はしないでください。
- **GAS**権限の承認は初回のみ  
初回実行時に**Google**アカウントへのアクセス許可を求められます。必ず自分が管理するアカウントで承認してください。
- スプレッドシートのシート名変更禁止  
**data** 以外の名前に変更すると動作しなくなります。
- 削除・ゴミ箱移動に注意  
スプレッドシートが削除またはゴミ箱に移動されると、新規に作成され、過去データは復元できません。
- ブラウザのキャッシュ影響  
画面表示や動作に不具合が出る場合はブラウザのキャッシュ削除やリロード(**Ctrl+F5** / **Cmd+Shift+R**)を試してください。
- 複数ユーザー利用時  
同時編集やアクセス数が多い場合、反映にタイムラグが発生することがあります。

本ツールをご利用いただきありがとうございます。

開発者として、皆さんの制作活動や業務が少しでも快適になることを願っています。

### 免責事項

- 本ツールの利用はすべて自己責任でお願いします。
- 本ツールの使用によって発生した損害・トラブルについて、開発者は一切の責任を負いません。
- 動作保証は行っていません。重要データのバックアップを取ったうえでご利用ください。

作成者: **taka\_aiworks**

X(旧Twitter): **@taka\_aiworks**